

新しい医師のご紹介



脳神経外科 部長 羽賀 大輔

12月より脳神経外科部長として赴任しました羽賀大輔です。11月までは千葉県東邦大学医療センター佐倉病院で勤務していました。ここ数年は脳外科疾患の中でも頸動脈狭窄症に対する内膜剥離術や、頭蓋内主幹動脈閉塞症に対するバイパス手術など、虚血性脳血管障害に対する予防的な血行再建術を多く執刀してきました。今後高齢化により脳梗塞などの虚血性疾患がさらに増えていくことが予想されます。周辺地域の脳卒中予防および治療に少しでも貢献できるように努力してきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

交通のご案内



つくばエクスプレス「三郷中央駅」より

徒歩 8分

グローバル交通バス

三郷駅行き 幸房西バス停下車
徒歩 1分

JR 武蔵野線「三郷駅」より

無料送迎バス 約 7分(およそ 30分に1本)

三郷駅南口 ロータリー コンビニエンスストア前付近より

東武バス

(金 52) 金町駅行き 幸房バス停下車
徒歩 3分

グローバル交通バス

新三郷駅行き 幸房西バス停下車
徒歩 1分

毎月 第3金曜日は「健康相談の日」

奇数月 第2, 4土曜日は「糖尿病教室」

玄関のお花

ご存じですか？

当院、正面玄関横に花壇があります。

この花壇は、職員が患者様の目の保養に植えているものです。

年に2回植え替えをしていますが、時に医療現場を離れ土に親しむこれは意外に、植える側の私達も楽しめます。

作業中は、様々な患者様に花の事、お花手入れの事、等お声を掛けて頂いています。

昨年 10 月下旬にパンジー・ビオラ・ガーデンシクラメンを植えました。

少し、日当たりは悪いのですが元気にきれいな花を咲かせています。

春には、お楽しみのチューリップが花を咲かせます。

どうぞお楽しみに。



発行/医療法人社団 愛友会
三郷中央総合病院
厚生労働省臨床研修指定病院
日本医療機能評価機構認定病院

〒341-8526
埼玉県三郷市幸房745番地
電話 048-953-1321 WEBサイト <http://mchp.jp/>
FAX 048-952-7279 E-mail info@mchp.jp



平成26年

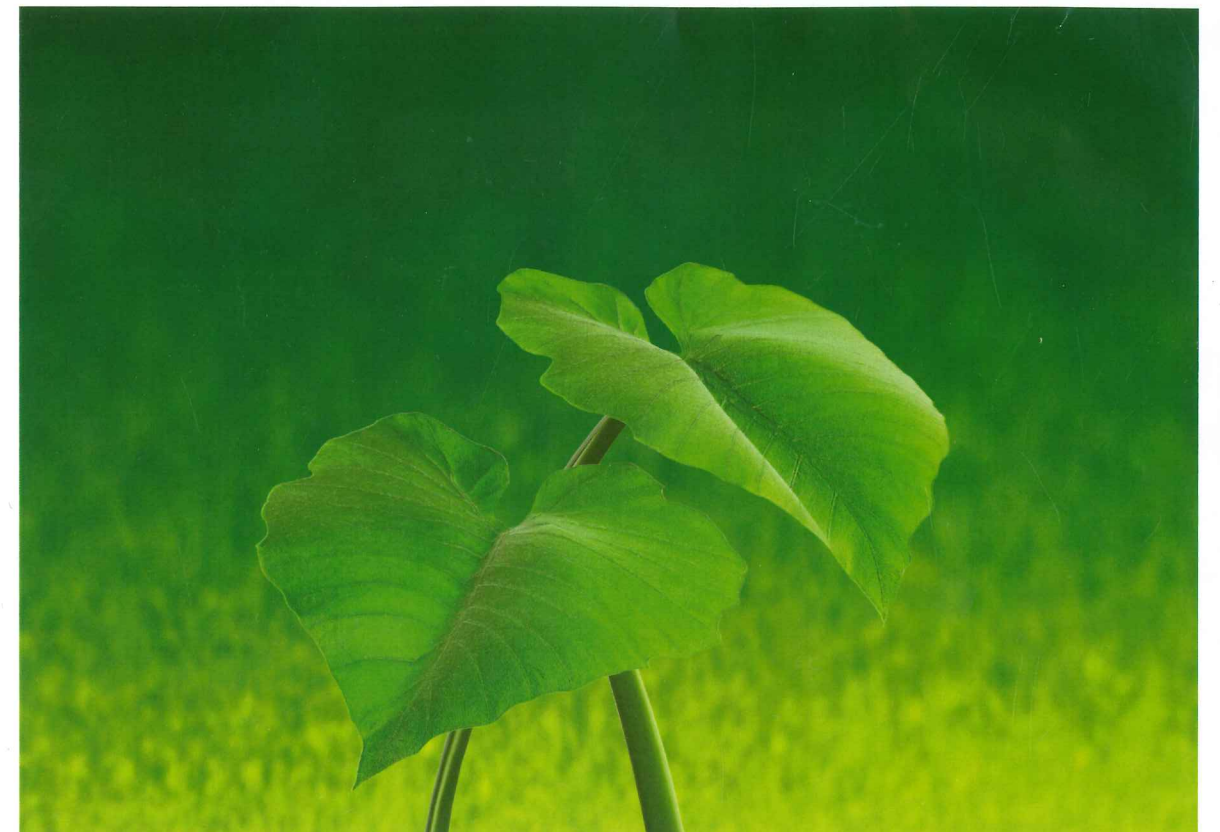
1月号

A-Q-U-A



医療法人社団 愛友会

三郷中央総合病院 メディカル通信



理念

愛し愛され信頼される病院

基本方針

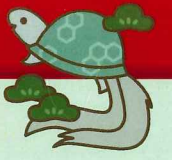
1. わたしたちは、すべての人の人格を尊重し、誠実な対応につとめます。
2. わたしたちは、わかりやすい言葉で説明するように心がけます。
3. わたしたちは、患者さまの訴えや要望に応えられるよう心がけます。
4. わたしたちは、最良の医療と看護を提供するために研鑽につとめます。
5. わたしたちは、地域の医療機関・保健機関と緊密な連携につとめます。

患者様の権利

1. あなたは、どのような時でも安全な医療を平等に受けることができます。
2. あなたは、自分の病気の診断や治療の方法に対して知ることができます。
3. あなたは、自分の病気や治療に対して十分な説明を受け、治療法など自ら選択することができます。また、他の医師の意見(セカンド・オピニオン)を聞くこともできます。
4. あなたの診療に関する個人情報やプライバシーは保護されます。
5. あなたは、自分の診療記録などについては、文書・コピーあるいは口頭での開示を求めることができます。



循環器センターを設立します



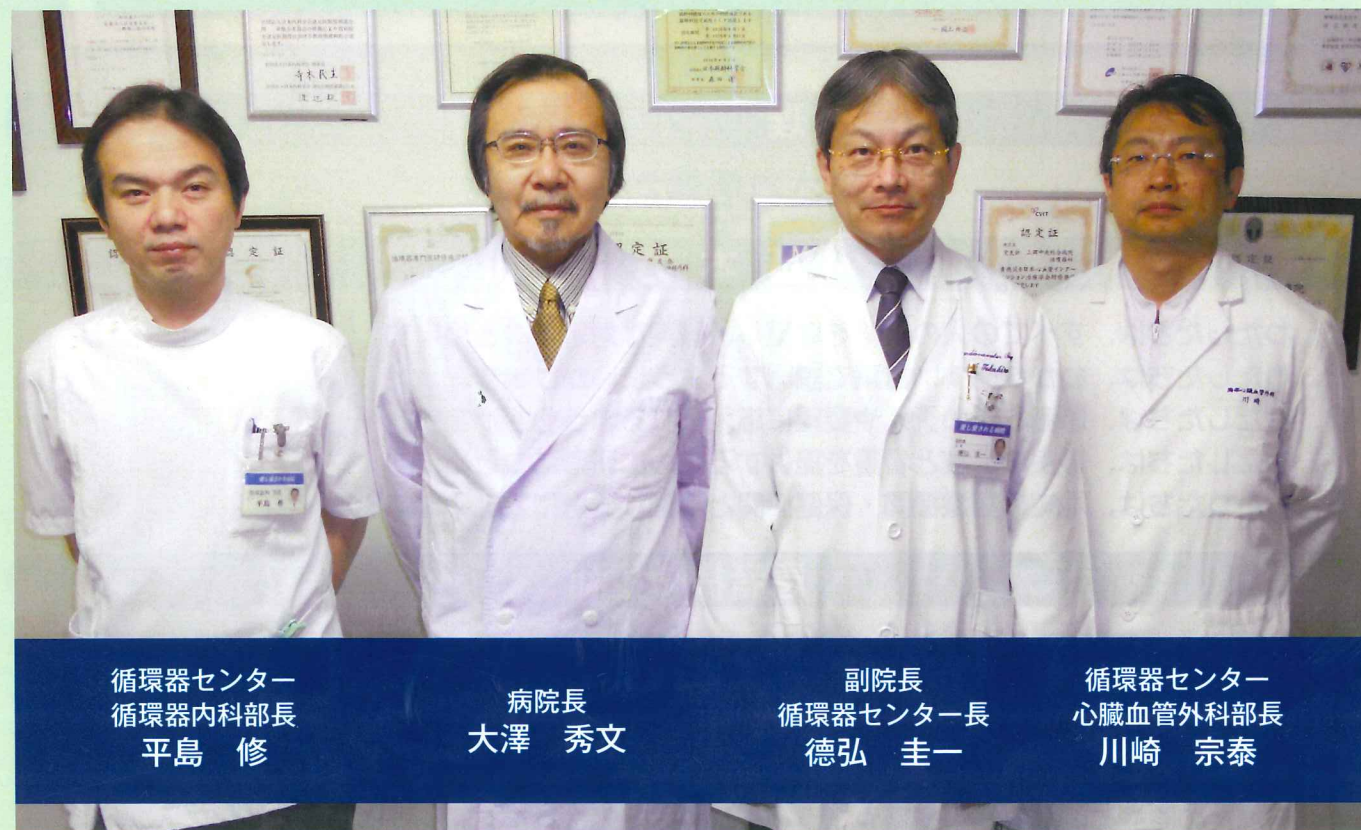
病院長 大澤 秀文

副院長・循環器センター長 徳弘 圭一

皆様、あけましておめでとうございます。

新年のご挨拶としてはあまりにも唐突ですが、「2025年問題をご存じでしょうか？ 2025年頃には、後期高齢者（75歳以上）の方が全人口の約18%と5人に1人の割合まで増加し、中でも高齢者の一人暮らしが約680万世帯（後期高齢者の約37%）にも達すると見込まれています。これらの高齢化に加えて生活習慣の欧米化に伴い、動脈硬化性疾患の罹患率は増加の一途にあり、冠動脈硬化症（狭心症）、脳動脈硬化（脳梗塞・脳出血）、下肢閉塞性動脈硬化症という形で発現してきます。なかでも循環器系の疾患は、一旦発症した場合は、心筋梗塞・不整脈・心不全など早急な対応が必要となり、その後の人生に多大な影響を及ぼしてきます。

三郷中央総合病院ではこれらの将来を見据え、適切で安全かつ円滑な診療・治療体系を構築するために、昨年10月に着任しました徳弘圭一副院長をセンター長として、「循環器センター」を立ち上げることにいたしました。三郷市民・医師会・救急隊の皆様方には、これまで以上にお役に立てるよう邁進して参りますので、御支援のほど宜しくお願い申し上げます。



循環器センター
循環器内科部長
平島 修

病院長
大澤 秀文

副院長
循環器センター長
徳弘 圭一

循環器センター
心臓血管外科部長
川崎 宗泰

あけまして、おめでとうございます。

現在、三郷中央総合病院では循環器内科5名・心臓血管外科3名の計8名で循環器疾患の診療にあたっており、緊急対応が不可欠な疾患にも対応すべく当直とオンコールにより24時間体制を敷いております。この基本的な診療体制は変わらないのですが、今後は患者様を専門的のみならず総合的に診療していく循環器センターを目指したいと考えております。循環器内科・心臓血管外科・放射線科・臨床工学科・リハビリテーション科・薬剤科・栄養科・地域医療連携室など、全ての領域で患者さんに対応していくことを意味しております。また、患者様個々の生活環境、食生活、運動能力が異なるわけですから、薬物療法・カテーテル的治療・外科的治療・食事療法・運動療法などにおいても、オーダーメイドの治療プログラムを考える必要があります。その治療方法を、全体のシステムで考え抜いていこうというのがセンター構想となるわけです。

特に動脈硬化性疾患は、生活習慣病の一貫として年齢と共に進行していく可能性が高いため、その進行予防と改善は生活の質と向上に欠かせないものとなります。冠動脈疾患の約1/3、脳血管疾患の約1/3に下肢の閉塞性動脈硬化症を合併し、逆に下肢閉塞性動脈硬化症の約1/2の方に冠動脈疾患、約1/3の方に脳血管疾患が合併していると報告されています。そのことから心臓だけではなく全身の血管病に対してもサポートが必要になります（Total Vascular Careという言葉でも表現されています）。したがって、頸動脈、脳血管疾患の治療に関しては、脳神経外科との相互協力体制もさらに推進して参ります。動脈疾患のみならず静脈瘤等の静脈性疾患に関してもより充実した治療に取り組むつもりであります。

今後、循環器センターは定期的にカンファレンスを開催することによって、個々の患者様に合った適切な治療を行って参ります。当初は、人的質的にはご満足いただけない部分もあるでしょうが、患者様、近隣の医療機関の皆様からの貴重なご意見をいただければ、より充実し期待に添える部門になると確信しております。皆様から愛される病院を目指すためにご理解とご支援の程、よろしくお願いいたします。